

第9回新しい公共島根県運営委員会

日 時 平成25年2月22日(金)

13:30~14:50

場 所 県松江合同庁舎601会議室

○毎熊委員長挨拶

<概要>

- ・本日は竹島の日だが、実は「竹島の日を定める条例」と「県民いきいき活動促進条例」ができたのはちょうど同じ日。後者も前者と同様に関心が高まってくると良い。

○3. 報告事項(1) 平成24年度寄附等に関する事業について

<主な意見>

- ・いきいきフェスタ自体はやってよかったんだろうと思う。ただ、芋煮鍋は有料配布とすべきだったと思う。集まったお金は支援金として活用すればよかった。
- ・無料配布について、他の出店者から不満の声があったとも聞いている。今後留意いただければと思う。
- ・当日来場者アンケートはやったのか。今後は実施した方が良いと思う。
- ・島根大学の学生が授業の一環として参加しており、学生対象にアンケートを実施した。54人参加したが、とても満足、まあ満足で91%、普通が7%、少し不満が2%、不満なし。9割方、学生は満足ができたということだった。ただ、「フェスタ自体の情報発信が十分でない」、「子供はいたが大学生ぐらいの世代が少なかったのでは」という声もあった。この点でもアンケートを実施して年代調査をしておけば良かったかと思う。それから「NPOブースでは営業ばかりしてくるところがあった」「退屈した子どもが外で一人ゲームしていた」との声もあった。このような点について反省すべきところもあるのかなと思う。
- ・フェスタのよかった点、悪かった点というのはしっかり整理し、次回につなげていく必要があると思う。来場者1,800名が多かったのか少なかったのか、成功だったのかどうか、過去のイベントと比較してどうだったのか、経費がどうだったのかなど。
- ・いきいきフェスタでつくったCMの今後の使い道は何か考えているか。
- ・CMについて、私の団体では現在地元のケーブルテレビと交渉中です。
- ・CMづくりはとても良い企画だった。定住財団で引き続きやって欲しい。作るに当たっては、自分たちのミッションを見つめ直す良い機会になると思う。
- ・まいふれポイントのことについて、アルテミスビュースカイさんが、県に対して「県職員に対してポイントカードの勧誘をして欲しい」といったら断られたと聞いたが、何か対応をされているか。

○2. 協議事項(1) 新しい公共島根県運営委員会設置要綱の改正について

<結論>

- ・了承

○2. 協議事項(2) 平成25年度新しい公共支援事業の概要について

<結論>

- ・了承

<主な意見>

- ・成果報告書というのは、国が決めたフォーマットがあるのか。
- ・成果報告会、報告書は誰を対象とするのかということについては、これから議論だということだが、だれに読んでもらいたいかによって書くべき内容も変わってくると思う。

- ・様々な報告書があるが、中には「3ページぐらい読んでもういい」というものがある。特に、県、国なんかの事業報告書は特におもしろくない。「失敗したことは書かれていない」「計画していたけどできなかった」ということは、同じようなことをしようとする団体の参考となるはず。
- ・「こういうふうな内容で」とか、「何かこういう視点から見たらどうか」という意見を今後話し合う機会があるか。
- ・報告書のたたき台が欲しい。今後のスケジュールが教えて欲しい。
- ・一般向けにとか、あるいはNPOさん向けにとか、後に生かせるようにみたいなのを意識した形でつくった方が良くと思う。通常の行政の報告書をたくさん印刷して配布しても誰も見ないだろう。
- ・報告書ってというのはどこに配布するのか。
- ・インターネットに掲載するのか。PDFでの配布は予定しているか。
- ・フェスタに関連して、開催場所については松江で大きなイベントを開催されることが多いが、このようなイベントのあり方として、今後は新しい公共という2年間限定の事業じゃなくて、島根県のいきいき活動促進という意味でこまめなイベントを県内各地で展開するというのもあって良いのではないか。大田圏域であれば、ジャスコなどで買い物に来たお客さんに「NPOはこんなことをしています」ということをわかってもらうことが今後につなげるという意味で必要ではないかと思う。
- ・報告会について今は松江で1回という計画だが、例えばそれを圏域ごとにやるということも考えてはどうか。
- ・2年間新しい公共支援事業として、寄附促進事業、フェスタ、モデル事業、ネットワーク事業などを実施した集大成として報告書ができ上がる。せっかく作るのであれば何というか「いきいき感が伝わって欲しい」と思う。報告書を作っていく際に、編集会議みたいなものをつくり、新しい公共運営委員も加わって作り上げていけたらいいと思う。
- ・これまでも県民との協働事業の報告書はいろいろと配布されているが、今回は新しい公共ということで、地域のたくさんのステークホルダー間の連携がどのくらい進んだのかということが一つの主軸になると思う。また、わかりやすくする工夫が必要。私たちの団体の報告書を作ったときにも、定住財団さんのご指導もいただき、何度も練り直して作った。徹底的に「社会課題は何か」「社会課題に対してどうしようと思ってるのか」「何をやったのか」「成果はどうだった」など道筋をわかりやすく伝えるということで、文字だけでなく、視覚的にもポイントがわかるような編集がなされていけばと思う。このように作ることで、活動の土台が異なる団体にとっても参考にできるものとなるのではないか。それは必ずしもうまくいった事例でなくても良いと思う。
- ・これらの提案について、急には難しいかもしれないと思うが、是非前向きに検討して欲しい。

○2. 協議事項（3）事業監査の実施について

<結論>

- ・了承

<主な意見>

- ・1団体にどれくらいの時間がかかるか。
- ・役割分担（会計部分）はどうか。
- ・運営委員の代理でも良いか。

○4. その他（1）新しい公共の場づくりのためのモデル事業の事業報告会について

<結論>

- ・了承

以上